

家庭学習プログラム

<学習するときは・・・>

○学習するテーブルの周りをかたづけて、教科ごとに必要なものをそろえます。

○ノートには、必ず日付と教科ごとの始めた時刻を書きます。

	25日（月）	26日（火）	27日（水）	28日（木）	29日（金）
8:30～9:00	読書 (読書の記録)	読書 (読書の記録)	読書 (読書の記録)	読書 (読書の記録)	読書 (読書の記録)
9:00～9:30	国語	国語	図工	社会	国語
9:35～10:05	国語	国語	図工	算数	算数
10:05～10:20	休憩				
10:20～10:50	算数	算数	理科	理科	英語
10:55～11:25	算数	道徳	家庭	音楽	漢字テスト 計算テスト
11:25～11:35	運動	運動	運動	運動	運動
※品川ではワンミニッツ。バランス系・パワー系・ストレッチ系。					
11:35～11:45	漢字	計算	漢字	計算	一週間の 振り返り
スーパードリルタイム					

- ※各教科のノートは4年生の続きを使いましょう。使い終わっている場合、同じ物を準備してください。
- ※道徳の教科書は、朝の読書で読んでよいです。
- ※学習したことは登校日などでかくにんしますので、使い終わったノートやプリントなどは捨てずにとっておいてください。
- ※時間割の時間を守って学習に取り組みましょう。

滝野川もみじ小学校 家庭学習プログラム 5年

5年 組 名前

5月25日(月) 天気()

読書

毎日「読書の記録」カードに読んだ本の題名と、読んだページ数を記録します。

1校時 国語「和語・漢語・外来語」①

①教科書P58～P59を開いて、全文を音読します。(6分)

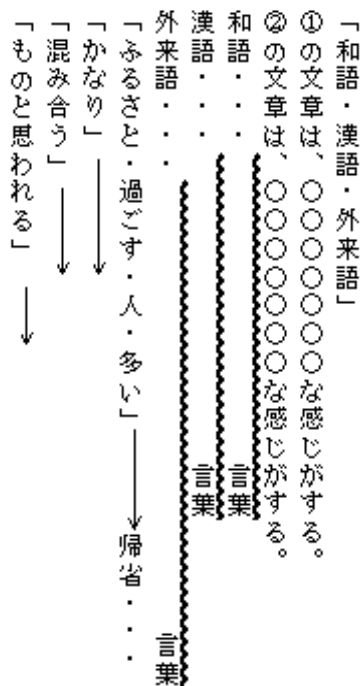
音読 チェック

②教科書P58の「①夏休みをふるさと…」と「②夏休みの帰省ラッシュで、…」を読み比べてどんな感じがしますか。ノートを開きます。1行目に「和語・漢語・外来語」と題名を書きます。2行目に「①の文章は、○○○○○な感じがする。」3行目に「②の文章は、○○○○○○○な感じがする。」と自分の考えを書きます。(5分)

③「和語・漢語・外来語」とは、どのような言葉のことを言うのか、教科書から書きぬきます。4行目に「和語・・・言葉」5行目に「漢語・・・言葉」6行目に「外来語・・・言葉」と、答えを入れて書きます。(7分)

④教科書P58①の文章の和語は、どのような漢語や外来語に置きかえられているでしょうか。7行目から「ふるさと・過ごす・人・多い」「かなり」「混み合う」「思われる」の置き換えられた漢語・外来語を書きましょう。(5分)

(ノート例)



⑤漢字ドリル9 新出漢字「許」「可」「河」「銅」「修」を、4文字ずつなぞって書き入れます。

漢字ドリル9の下の方ののっているじゅく語を漢字ノートに2回ずつ、練習します。丁寧に書きましょう。(7分)

2校時 国語「和語・漢語・外来語」②

①教科書P58～P59を開いて、全文を音読します。(6分)

音読 チェック

②ノートを開きます。1行目に「和語・漢語・外来語」と題名を書きます。2行目から1行ずつ空けて、教科書P59下段練習問題 **1** の問題文を写して書きます。_____線の言葉は、和語ですか。漢語ですか。また、読み仮名と言葉の意味も書きましょう。(7分)

③教科書P59下段「練習問題 **2** 「身の回りの中から和語・漢語・外来語をさがしてみよう。」を次の行に書いて、辞書や新聞、雑誌や本など様々な物からさがして、ノートに書いてみよう。(ノート例)

「和語・漢語・外来語」
1 せいぶつ (生き物) 漢語
・湖にすむ生物の数を計測する。
・生物ですから早くめしあがってください。
・風車小屋の近くは立ち入り禁止になった。
・妹に風車を貸す。
2 身の回りの中から和語・漢語・外来語をさがしてみよう。
・色紙(いろがみ・和語)
・色紙(しきし・漢語)
・間(ま)く(きく・和語)
・菊(きく・漢語)
・大家(おおや・和語)
・僕(ぼく・漢語)

④漢字ドリル11 新出漢字「賞」「貿」「易」「潔」を、4文字ずつなぞって書き入れます。

漢字ドリル11の下の方にのっているじゅく語を漢字ノートに2回ずつ、練習します。丁寧に書きましょう。(10分)

3校時 算数「変わり方を調べよう」

①学習に使うものは、算数の教科書、ノート、筆記用具、下じきです。準備しましょう。

②ノートの新しい見開き2ページと算数の教科書P.38を開きましょう。

③ノートの1番上の行に日付、「比例」、時刻を記入しましょう。(1分)

④次の行に「㊟学習のしあげをしよう」と書きましょう。(1分)

⑤教科書P.38の「いかしてみよう」の①～③をノートにときましょう。(10分)

※①の表をノートに書くときに、1番左側には「□ (だん)」「○ (cm)」とだけ書きましょう。

⑥教科書P.38④に取り組みましょう。(10分)

※外に出る場合などは、家の人といっしょに出るなどして、安全に十分注意して行って下さい。

⑦P.39「おぼえているかな」に取り組みましょう。(10分)

※答えはP.147にのっているので、終わったら答え合わせをしましょう。

4 校時 算数「かけ算の世界を広げよう」

※比例の問題をといて練習したいのですが、連絡日にプリントをわたすので、先に新しい学習に入ります。

次回、「変わり方を調べよう」にもどって最後のしあげをします。ノートは1ページ空けておきましょう。

①学習に使うものは、算数の教科書、ノート、筆記用具、下じきです。準備しましょう。

②ノートの新しい見開き2ページと算数の教科書 P.40 を開きましょう。

③ノートの1番上の行に日付、「小数のかけ算」、時刻を記入しましょう。(1分)

④次の行に「 $\textcircled{\times}$ かける数が小数のときを考えよう」と書きましょう。(1分)

⑤教科書 P.40 を読んで、これまでに学習したかけ算についてふりかえりましょう。(2分)

※□の中の数字やことばに注意して読みましょう。

⑥次に教科書の問題を見てみましょう。行を変えて、 $\textcircled{\text{も}}$ と書いてから、教科書 P.41 の $\boxed{1}$ の問題を書きます。

(3分)

⑦この問題の式を考えていきますが、まずは簡単な問題で考えてみましょう。買うリボンの長さが「3m」のときは、どのような式になりますか。ノートの行を変えて、「 $\textcircled{\text{O}}$ 3mのときは・・・」と書いてから、式を書いてみましょう。(2分)

⑧ことばの式で考えると、

$$\boxed{1\text{ mのねだん}} \times \boxed{\text{長さ}} = \boxed{\text{代金}}$$

となるので、このことばの式を、⑦で考えた式の下に書いておきましょう。(1分)

⑨ここまでの⑦⑧をふまえて、 $\textcircled{\text{も}}$ の式はどのような式にしたら良いでしょうか。行を変えて $\textcircled{\text{じ}}$ と書いてから式を書き、その下に、なぜそのような式にしたかを書きましょう。(3分)

⑩教科書 P.42 をしっかりと読みます。(3分)

⑪比例や倍の考え方をすると代金を求めることができ、「 80×2.3 」という式を立てることができます。

ノートに□の中の文章を書きましょう。(2分)

$80 \times 2.3 \cdots$ 80 円の 2.3 倍の代金を求める計算

↓

80 円を1とみたとき、2.3にあたる代金

⑫ノート行を変えて P.42 真ん中の数直線を書きます。(5分)

⑬教科書 P.42 のまとめをノートに書きましょう。行を変えて、まと書いてから書きましょう。(3分)

⑭最後に少し練習をします。式が「 80×2.3 」になる他の問題を考えてみましょう。ノートの行を変えて $\boxed{\text{練習}}$ と書いてから、自分で考えた問題を書きましょう。(4分)

5 校時 運動(たきもみエクササイズ)

プリント「たきもみエクササイズ」の中から1つ選んで運動をしましょう。

6 校時 スーパードリルタイム(漢字)

①漢字ドリル10 新出漢字「復」「防」「災」「検」「移」を、4文字ずつなぞって書き入れます。

漢字ドリル10の下の方にのっているじゅく語を漢字ノートに2回ずつ、練習します。丁寧に書きましょう。

5月26日(火) 天気()

読書

毎日「読書の記録」カードに読んだ本の題名と、読んだページ数を記録します。

1校時 国語「日常を十七音で」①

①教科書P60～P63を開いて、全文を音読します。(6分)

音読 チェック

②ノートを開きます。1行目に「言葉をよりすぐって俳句を作ろう」2行目に「日常を十七音で」と題名を書きます。(3分)

③いきなりですが、まずはじめに、俳句を一句考え、ノートの3行目に書いてみましょう。(5分)

④3行目から教科書P60～P63にのっている俳句9句を1行ずつ空けて、書き写します。作者名も書きましょう。(10分)

⑤漢字ドリル12を開きます。ドリルに直接書き込んで学習します。(6分)

2校時 国語「日常を十七音で」②

①教科書P61を開いて、P61全文を音読します。(3分)

音読 チェック

②ノートを開きます。1行目に「言葉をよりすぐって俳句を作ろう」2行目に「日常を十七音で」と題名を書きます。(2分)

③3行目に「材料集めをしよう。」と書いて、生活の中で気付いたことや、おどろいたことなど、題材を1つ選んで、短い文章を書きます。(8分)

④次の行に「俳句を作ろう。」と書き、先ほど自分が書いた文章から、どんな季語を使うかを考え、五・七・五の十七音で俳句にしましょう。(8分)

⑤漢字ドリル14を開きます。①～⑫の問題を見て、漢字ノートにひらがなを漢字に直して答えを書きます。分からない時は、13ページを見て、正しく書いて覚えましょう。

※プリント「漢字ドリルの学習の仕方」をよく見て、漢字ノートに丁寧に書きます。

3校時 算数「かけ算の世界を広げよう」

①学習に使うものは、算数の教科書、ノート、計算ドリル、計算ドリル用ノート、筆記用具、下じきです。準備しましょう。

②ノートの新しい見開き2ページと算数の教科書P.43を開きましょう。

③ノートの1番上の行に日付、「小数のかけ算」、時刻を記入しましょう。(1分)

④次の行に「㊟小数をかける計算のしかたを考えよう」と書きましょう。(1分)

⑤教科書P.43のりくさん、みさきさんの考えをよく読んで、二人の考えを説明しましょう。(10分)

※りくさん、みさきさんは、まずどの長さのねだんを求めているかに注意して書きましょう。

下の□の中をまねしてノート作りをしてみてください。

○りくさんの考え

りくさんはまず、・・・の代金を求め、2.3mはその△こ分だから、「 」というふうに式をたてて計算しています。

○みさきさんの考え

みさきさんはまず、・・・

- ⑥りくさん、みさきさんが教科書のように、計算しているのはなぜでしょうか。それは、2人ともくふうして、整数だけで計算しようとしているからです。この2人のように、整数の計算でできるように考えると、答えを求めることができます。ノートに教科書P.44のまとめを、行を変えて㊦と書いてから書きましょう。(3分)
- ⑦教科書P.44のみどりの1の問題を下の2つの方法でときましょう。(式と答えを書きましょう。)(10分)
- 1 りくさんの考え方(0.1mの重さを求めて、その何こ分か考える。)
- 2 みさきさんの考え方(16mの重さを、その重さを10でわる。)
- ⑧計算ドリル14の①～⑧をときましょう。(5分)

4校時 道徳「見えた答案」

- ①教科書P18～21を音読します。(6分)
音読 チェック
- ⑥道徳ノートを開きます。1行目にテーマ「せいじつに明るい心で」、2行目に題名「見えた答案」と書きます。(2分)
- ⑦教科書P21の「考えよう①花子は、なぜ「こんなことは、もう二度としてはいけない。」と思ったのでしょうか。」を3行目に書き、自分の考えを次の行から書きます。(10分)
- ⑧教科書P21「考えよう②今までに正直に行動してよかったと思ったことがありますか。それはどんなことですか。」をノートに写して書き、その次の行から自分の生活をふり返って、書きます。(12分)
- ※思い出せない時は、うまくいかなかったけいけんでもいいです。

5校時 運動(たきもみエクササイズ)

プリント「たきもみエクササイズ」の中から1つ選んで運動をしましょう。

6校時 スーパードリルタイム(計算)

計算ドリル134年 小数のかけ算をノートにときます。とき終わったら、答え合わせをして、丸付け→直しまでします。(10分)

5月27日(水) 天気()

読書

毎日「読書の記録」カードに読んだ本の題名と、読んだページ数を記録します。

1・2校時 図工「絵の具スケッチ」

次のプリントに取り組みましょう。

※配信メールで、領塚先生からの説明動画は、届いていますか。動画を見ながら課題に取り組みましょう。

※プリントできない場合は、別の紙や自由帳の紙をつかってかきましょう。おわたたら、その紙を教科書にはさんでおきます。(先生が後で集めます。)

「絵の具スケッチ」

① 教科書(図画工作5・6上)の8、9ページをじっくり読みましょう。しっかり読んだら、わくの中に○を書きます。

② 今回は、えん筆でスケッチすることにします。

まず、教科書58ページ「使ってみよう 材料と用具」をよく読みましょう。えん筆での、いろいろな表し方をおぼえます。表し方をおぼえたら、わくの中に○を書きます。

③ それでは、いいなと感じた身近な物や窓から見える物などを、えん筆で表し方をくふうしてスケッチをします。進め方を読んでから、始めます。

進め方 ※使う紙は、B5またはA4の大きさの紙か、自由帳の紙にかきましょう。

(1) 1まいの紙を3つにやぶきます。大きさや形を変えてみましょう。

(2) いいなと感じた身近な物や窓から見える物に合わせて、やぶいた紙をえらびます。

(3) えん筆での表し方をくふうしながら、やぶいた紙3まいに、それぞれ別のものをスケッチをします。

※えん筆でのいろいろな表し方を使って、くふうして表しましょう。

※3枚とも違うものをスケッチします。(同じものはスケッチしません。)

※えん筆と消しゴムだけ使います。(絵の具や色えん筆やペンなどは使いません。)

※やぶいた紙のうらに、名前を書きます。

④ スケッチが3まい全部できたら書きます。

<p>あなたが一番いい感じにスケッチできたのは、どれですか。(何をスケッチしたものでか。)</p>	<hr/> <hr/> <hr/>
<p>そのスケッチは、どんなところがいい感じだと思いますか。</p>	<hr/> <hr/> <hr/>
<p>そのスケッチで、えん筆での表し方の工夫はどんな事をしましたか。くわしく教えてください。</p>	<hr/> <hr/> <hr/>

④ これで、7 8の学習は終わりです。

この紙とスケッチの3まいの紙は大切ですので、名前を書いて、教科書にはさんでおきましょう。

3 校時 理科「天気の変化」

①学習に使うものは、理科の教科書、ノート、筆記用具、下じき、理科の資料プリントです。準備しましょう。

※途中でインターネットを使って学習する場面があります。家の人と相談して取り組みましょう。

②ノートの新しい見開き2ページと理科の教科書 P.22 を開きましょう。

③ノートの1番上の行に日付、「天気の変化」、時刻を書きましょう。(1分)

④次の行に「○天気の変化のついて学んだことをまとめよう」と書きましょう。(1分)

⑤P.22 の確かめよう①～③をノートにときましょう。分からないときは、これまでのノートや教科書を見返しましょう。※ノートにとくときには、問題ごとに行を変えて書きましょう。(10分)

⑥インターネットで「NHK for school」(<https://www.nhk.or.jp/school/>)を開き、「ふしぎがいっぱい5年生」という番組の、

・天気と雲 (https://www.nhk.or.jp/rika/fushigi5/?das_id=D0005110043_00000)

・明日の天気は? (https://www.nhk.or.jp/rika/fushigi5/?das_id=D0005110044_00000)

の2つの動画を見て下さい。(各10分)

※インターネットが使えない場合は、以下の学習をしてください。

⑥連絡日に配布した理科の資料プリントを使って、自分の興味があることを調べて、ノートにまとめましょう。行を変えて、「天気について調べたこと」と書いてから、さらに行を変えて、まとめましょう。(20分)

以上で、天気についての学習は終わりです。この学習で重要なところは、P.22 の確かめようで書いたことです。しっかり覚えておきましょう。5年生後半では、台風について学習します。お楽しみに。

4 校時 家庭「家族の生活再発見」「クッキング はじめの一步」

※次のワークシート「1 家族の生活再発見」「2 クッキング はじめの一步」を使って学習します。

※ワークシートは26日の連絡日に配布しました。

1 家族の生活再発見

令和 2年 月 日(曜日)

第 5学年 組 番:氏名

家庭 「家族の生活を見つめよう」 「生活を支える家庭の仕事」

①教科書P8～P9

ヒカルさんと家族の1日の生活を参考にして毎日の生活を支える自分の家庭の仕事には何があるかを書いてみよう。

《家庭の中の全ての仕事》

《家庭の中で自分がしている仕事》

2 クッキング はじめの一步

令和 2年 月 日(曜日)

第 5学年 組 番:氏名

家庭 「調理の手順や用具の安全な使い方」

①教科書P10~P11

調理用具の名称を書いてみよう。

《いろいろな調理用具の名前》

5 校時 運動（たきもみエクササイズ）

プリント「たきもみエクササイズ」の中から1つ選んで運動をしましょう。

6 校時 スーパードリルタイム（漢字）

①漢字ドリル13「読む」のページを開きます。漢字ノートに①～⑳までを全文写して書きます。漢字全てに、読み仮名を書き入れます。

※プリント「漢字ドリルの学習の仕方」をよく見て、漢字ノートに丁寧に書きます。

5月28日（木） 天気（ ）

読書

毎日「読書の記録」カードに読んだ本の題名と、読んだページ数を記録します。

1 校時 社会「低い土地の暮らし～岐阜県海津市～」

※次のワークシートを使って学習します。

※ワークシートは26日の連絡日に配布しました。

「低い土地の暮らし～岐阜県海津市～」

5年 組

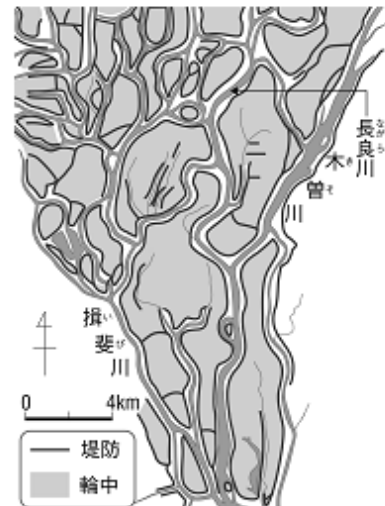
調べる①輪中にすむ人々は、水害から生活をどのように守ってきたのでしょうか。

- ①教科書P26～P27を開いて、全文を音読します。音読
- ②右の資料 2 は120年ほど前の川の流れを表しています。3つの川の流れが混ざり合っていることが分かりますね。

120年前の人々の暮らしは、どんな様子だったと思いますか。

自分の考えを書きましょう。

□チェック



- ③教科書P26～P27の資料 1 2 5 と「歴史民俗資料館の服部さんの話」から、水害とたたかってきた歴史についてまとめよう。

- ・ [] 時代に、 [] 藩（今の [] 県）の治水工事によって、 [] が作られた。
- ・ [] 時代に、オランダの技師 [] によって 大規模な工事が行われ [] は、大きく減った。

- ④水害から暮らしを守るためにどんな工夫や努力をしてきたのか、教科書P27を見て、まとめよう。

[]

2校時 算数「変わり方を調べよう」

今回は連絡日に配ったプリントを使って「比例」の練習をします。

①学習に使うものは、「5年 うでだめシート 比例」「5年 うでだめシート 数直線の図を使って考えてみよう」と書かれた算数のプリント（2枚）、ノート、筆記用具、下じきです。準備しましょう。

※比例と書かれたプリントは2つあります。「うでだめシート」の方を使います。まちがえないように。

②プリント「5年 うでだめシート 比例」に取り組みます。終わったら、うらを見て、答え合わせ・丸付け・直しまでしましょう。（12分）

③プリント「5年 うでだめシート 数直線の図を使って考えてみよう」に取り組みます。終わったら、うらを見て、答え合わせ・丸付け・直しまでしましょう。（12分）

④ノートを開いて、「比例」の学習の感想を書きましょう。（6分）

※前に空けておいたページに書きましょう。とくに、分からなかったところを書いてみましょう。

3校時 理科「植物の発芽と成長」

今回から新しい学習に入ります。

①学習に使うものは、理科の教科書、ノート、筆記用具、下じきです。準備しましょう。

②ノートの新しい見開き2ページと理科の教科書P.24を開きましょう。

③ノートの1番上の行に日付、「植物の発芽と成長」、時刻を書きましょう。（1分）

④次の行に「○植物の発芽に必要なものを考えよう」と書きましょう。（1分）

⑤教科書P.24,25を読みましょう。（2分）

⑥発芽とはどういうことか、ノートに書きます。ノートの行を変えて、「○発芽とは」と書いてから、さらに行を変えて、「～こと」につながるように、発芽について書きます。※教科書P.24の下のあたりを確認しましょう。（2分）

⑦教科書は一度閉じてしまいましょう。

⑧発芽について分かりましたね。では、発芽に必要なものは何でしょうか。行を変えて「予想」と書いてから、さらに行を変えて、自分の考えを書いてみましょう。（5分）

（注）ここは合っている必要はありません。「自分がどのように考えたか」が大切なので、予想を書くときは、なるべく教科書を見ないでおきましょう。

⑨次に、今の自分の予想が正しいかを調べる実験の方法を考えます。次の□の中の文章を読みましょう。（4分）

1つの条件について調べるときには、調べる条件だけを変えて、それ以外の条件は、すべて同じにします。なぜなら、同時に2つの条件を変えてしまったら、どちらの条件が結果に関係しているか分からないからです。身の回りの例で考えてみましょう。かけっこで、足の速さを競いたい3人。でも、靴は？ スタートは？ カーブの内と外で、それぞれが走る距離は？ これらがバラバラだと、足の速さは比べられません。そこで、靴は、全員同じものに。スタートは、笛の合図でいっせいに。直線だと、走る距離も同じになります。条件制御をすることで、確かめたいことを、ちゃんと検証できるようになります。

⑩調べる条件だけ変えて、それ以外の条件は、すべて同じにすることに注意して、自分が予想した発芽に必要なものを調べる方法を、ノートに書きましょう。ノートの行を変えて、「○調べる方法」と書いてから、さらに行を変えて、自分の考えを書きましょう。(10分)

(例) 発芽に必要なものが「水・肥料・日光・空気・適当な温度・発芽のおまじない」だと予想した場合。

「発芽のおまじない」が必要かどうかを調べるためには、種子Aと種子Bの2つを用意して、次の表のように実験の条件を整えます。

	種子A	種子B
水	あり	あり
肥料	あり	あり
日光	あり	あり
空気	あり	あり
適当な温度	あり	あり
おまじない	あり	なし

※上のような表にまとめるとわかりやすいです。

※学校が再開したら、すぐに実験をしますので、自分の考えはノートにしっかり残しておきましょう。

⑪最後に、自分が予想した「発芽に必要なもの」を調べる具体的な手段を考えます。教科書を読んだり、自分で考えたりして書きましょう。(5分)

(例) 日光が必要かどうかを調べるためには、日光が当たる種子と、段ボールの箱にいれたりして、暗いところで育てる種子を準備します。

4 校時 音楽「リコーダーを演奏しよう」

次のプリントに取り組みましょう。

No.4 「リコーダーを演奏しよう」

5月28日(木)

♪この用紙をプリントできない人は、ノートや紙に名前を書いて使いましょう。課題をやったら、□に☑をつけましょう。

★始める前に、リコーダーを用意しておきましょう。

① 初めに先週の復習をします。

①

教科書 16 ページを開き、「小さな約束」の1パート（上の段）を小さめの音で吹いてみましょう。

② 2段あるうちの下段（上の2段は上下同じなので、3. 4段の下 リコーダー2）

②

に階名（ドレミ・・・）を書きましょう。階名が分かりにくい人は、17ページの長調の音階を見て書いてください。

※高い「レミ」も出てくるので気を付けてね。

③ 次にパート2（下の段）を、リコーダーで吹いてみましょう。

③

全部できなくてもいいので、できるところだけやってみましょう。
ソの#（シャープ）の指使いは、16ページの上の方に出ています。
音符の長さが分からない人は、教科書の84ページを見てください。

♪今日の学習はこれでおわりです。

この用紙は、教科書にはさんでおいてください。

5 校時 運動（たきもみエクササイズ）

プリント「たきもみエクササイズ」の中から1つ選んで運動をしましょう。

6 校時 スーパードリルタイム（計算）

計算ドリル 14 小数のかけ算⑨～⑳をノートにときます。とき終わったら、答え合わせをして、丸付け→直します。（10分）

5月29日（金） 天気（ ）

読書

毎日「読書の記録」カードに読んだ本の題名と、読んだページ数を記録します。

1 校時 国語「日常を十七音で」③

① 教科書P62を開いて、全文を音読します。（4分）

音読 チェック

②ノートを開きます。1行目に「言葉をよりすぐって俳句を作ろう」2行目に「日常を十七音で」と題名を書きます。（2分）

③ 3行目に「表現を工夫しよう」と書いて、4行目に「①言葉を選ぶ……たとえを使ったり、……。」5行目6行目に「②言葉の順序を工夫する……同じ様子を表すときでも、……。」7行目8行目に「③どの文字で書き表すかを考える……漢字、平仮名、片仮名の……。」とていねいに写します。（8分）

④ 昨日作った自分の俳句を見直して、書き直します。（3分）

⑤ 同じ手順で、生活の中で気づいたことなどを短い文章で書き、季語を考えて2句目の俳句を作ります。できたら、語順やたとえを工夫しているかななどの見直しをしましょう。（12分）

⑥ 学習の一番はじめに作った俳句と、見直しをしながら作った俳句とを比べて、気づいたことをノートに書きましょう。（1分）

2 校時 算数「かけ算の世界を広げよう」

①学習に使うものは、算数の教科書、ノート、筆記用具、下じきです。準備しましょう。

②ノートの新しい見開き2ページと算数の教科書P.40を開きましょう。

③ノートの1番上の行に日付、「小数のかけ算」、時刻を記入しましょう。（1分）

④次の行に「㊸小数同士のかけ算のしかたを考えよう」と書きましょう。（1分）

⑤行を変えて、㊹と書いてから、P.44㊲の問題を書きましょう。（2分）

⑥P.44の数直線をみて、式を立てましょう。ノートに㊺と書いてから書きましょう。（1分）

⑦次に計算のしかたを考えます。P.44の「計算のしかたを考えよう。」の下の㊻に取り組みましょう。

教科書の口で囲まれたところをノートに書き、空いているところをうめてから、説明を書きましょう。

（10分）

⑧前回と同じように、整数だけで計算しよう考えると、計算することができます。教科書P.45のまとめをノートに書きましょう。行を変えて㊼と書いてから書きましょう。（3分）

⑨P.46のみどりの2をノートにときましょう。（6分）※小数点をいくつずらすか考えましょう。

⑩P.131のみどりのケをノートにときましょう。（6分）※小数点をいくつずらすか考えましょう。

3 校時 英語「アルファベット」

※途中でインターネットを使って学習する場面があります。家の人と相談して取り組みましょう。

- ①学習に使うものは、英語の教科書、5月25・26日で配布したプリント(1枚)、筆記用具です。準備しましょう。
- ②プリント「アルファベットの大文字をさがし、○で囲んでみよう!」を開きましょう。
- ③プリント下のNameと書かれているところに、大文字ローマ字で自分の名前を書きましょう。(2分)
※分からないときは、教科書P.85を見て書きましょう。
- ④プリントに取り組みましょう。(5分)※いろいろな場所に大文字のアルファベットがかくれています。
- ⑤「ふりかえり」を書きましょう。(3分)
- ⑥プリント「アルファベットにチャレンジ(小文字)」を開きましょう。
- ⑦プリント下のNameと書かれているところに、小文字ローマ字で自分の名前を書きましょう。(2分)
※分からないときは、教科書P.85を見て書きましょう。
- ⑧プリントに取り組みましょう。(5分)※いろいろな場所に小文字のアルファベットがかくれています。
- ⑨「ふりかえり」を書きましょう。(3分)
※取り組み終わったプリントは、大事に教科書にはさんでおきましょう。
- ⑩教科書P.96の上にあるQRコードを読み取って、「Animal Jingle」を見ながら発音練習をしましょう。(5分)
※QRコードを読み取れないときは、下のアドレスのページにってください。2回練習すること。

<https://sw31.tsho.jp/02pk/e5/jingle/animals/sound/>

- ⑩教科書P.96の上にあるQRコードを読み取って、「Animal Jingle」を見ながら発音練習をしましょう。(5分)
※QRコードを読み取れないときは、下のアドレスのページにってください。2回練習すること。

<https://sw31.tsho.jp/02pk/e5/jingle/food/sound/>

4 校時 漢字テスト・計算テスト

【漢字たしかめテスト2】

- ①漢字ドリル7⑪～⑳を見て、指なぞりをしたり、別の紙に書いたりして確かめをします。(3分)
3分間練習 チェック
- ②漢字ドリル8⑪～⑳を見て、漢字たしかめテストを行います。(7分)
- ③漢字ドリル7⑪～⑳を見て、採点し、まちがえた漢字はテストの裏に、正しく2回ずつ書いて覚えます。(5分)

【計算テスト】

「③比例」と書かれたプリント(1枚両面印刷。5月25・26日で配布。)に取り組みましょう。(15分)

※名前の書き忘れに注意。答えを書く□には、比例しているか、比例していないかを書きます。理由を選ぶときは、選んだ記号を、答えを書く□の近くに書きましょう。

5 校時 運動(たきもみエクササイズ)

プリント「たきもみエクササイズ」の中から1つ選んで運動をしましょう。

6 校時 1週間のふり返り

今週の学習の様子を思い出して、「1週間のふり返りカード」に書きましょう。(10分)